

かがわマラソン KAGAWA MARATHON

かがわマラソン2026

実施計画書

2025.03.25

かがわマラソン実行委員会

1. 開催概要

開催概要		P3
------	-------	----

2. 競技運営計画

参加ランナー募集計画		P11
参加ランナーフロー		P12
参加ランナー受付計画		P13
拠点会場計画		P14
収容関門、収容バス計画		P16
給水・給食所(エイド)計画		P17
その他各種計画		P18
医事・救護計画		P19
セレモニー計画		P20

3. 運営計画

ボランティア計画		P22
交通総量抑制計画		P25
交通対策・安全対策計画		P26
警備・誘導計画		P27
緊急事案対応計画		P28

4. 地域の盛り上げ計画

香川県内裾野拡大施策		P30
かがわマラソン		
EXPO2026計画		P31
沿道応援イベント計画		P32
大会アンバサダー		P33

5. 地域経済への波及計画

地域経済への波及計画		P35
------------	-------	-----

6. 協賛等計画

協賛等計画		P37
-------	-------	-----

7. 広報計画

広報計画		P39
機運醸成		P40

8. 大会の収支見込み

大会の収支見込み		P42
----------	-------	-----

9. 年次計画

年次計画		P44
------	-------	-----

1.開催概要

- 大会名称 : かがわマラソン2026
- 主催 : かがわマラソン実行委員会、香川県、高松市、綾川町
- 主管 : 一般財団法人 香川陸上競技協会
- 開催日時 : 2026年3月15日(日)
10:00 マラソンスタート
10:30 高松ファンラン(約3km)スタート
11:30 高松ファンラン(約1km)スタート
- ランナー受付 : <日時>
2026年3月14日(土) 10:00~19:00

<会場>
あなぶきアリーナ香川
※大会当日(3月15日(日))の受付は行わない
※受付時に身分証明書等による本人確認を行う
- 競技規則 : 2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による
- 種目 : <マラソン(42.195km)>
あなぶきアリーナ香川前スタート／あなぶきアリーナ香川内フィニッシュ
(日本陸連公認取得予定)

<高松ファンラン(約3km)>
①一般の部／②ファミリーの部
あなぶきアリーナ香川前スタート／あなぶきアリーナ香川内フィニッシュ(予定)

<高松ファンラン(約1km)>
あなぶきアリーナ香川前スタート／あなぶきアリーナ香川内フィニッシュ(予定)
- 参加資格 : <マラソン(42.195km)>
2007年(平成19年)4月1日以前に生まれた方
※5時間45分以内に完走できる方
※日本陸上競技連盟登録競技者については、2025年度の登録者とする
※車いすでの参加は不可
※障がいのある者で単独走行が困難な場合は伴走者(参加料無料)を1人つけることができる
(盲導犬の伴走は不可。受付の際、身体障害者手帳又は療育手帳等により本人確認を行う。)

<高松ファンラン(約3km)>
①一般の部:中学生以上
②ファミリーの部:小学生と保護者(ペアのみ)
※制限時間内に完走できる方
※車いすでの参加は不可
※障がいのある者で単独走行が困難な場合は伴走者(参加料無料)を1人つけることができる
(盲導犬の伴走は不可。受付の際、身体障害者手帳又は療育手帳等により本人確認を行う。)
※小学生は1人につき1名同伴者(小学生・保護者ペアでのエントリー)が必要

<高松ファンラン(約1km)>
小学生以上の方
※制限時間内に完走できる方
※車いすは生活用車いすのみ参加可
※障がいのある者で単独走行が困難な場合は伴走者(参加料無料)を1人つけることができる
(盲導犬の伴走は不可。受付の際、身体障害者手帳又は療育手帳等により本人確認を行う。)

- 定員 制限時間 参加料 : 以下の内容で、定員、制限時間、参加料を設定する。

種目	マラソン (42.195km)	高松ファンラン 一般の部(約3km)	高松ファンラン ファミリーの部(約3km)	高松ファンラン (約1km)
定員	10,000名	200名	100組 (200名)	100名
制限時間	6時間	30分	30分	20分
参加料 (税込・手数料別)	14,000円	3,000円	4,000円	1,000円

- 募集方式 : 先着順(インターネット(WEB)エントリー)

- ・国内エントリー(マラソン(県民先行枠・一般枠)、高松ファンラン)
- ・海外エントリー(マラソンのみ)

◆ 大会コンセプト

だし惜しみなし！香川の魅力

瀬戸内海や里山・都市という香川ならではの風景を、
県内外から多くのランナーに爽やかな風を感じてもらいながら走っていただく。
香川の食文化・伝統芸能やおもてなしまで、すべてを愉しんでいただける大会に。

“オール香川”のコンのある力強さが、香川を盛り上げる！

ランナーもボランティアも応援する人もみんなが楽しめて、
香川県民総出で盛り上げる、特別な一日を。
香川の新しいお祭り スタートです！

◆ 大会スローガン

「みんなで、よーい、うどん！」

◆ 大会ロゴ

手書き文字で、老若男女問わず親しみやすく優しい雰囲気グラフィックに。

大会ロゴデザイン

■日英表記

年号あり

かがわマラソン
KAGAWA MARATHON 2026

年号なし

かがわマラソン
KAGAWA MARATHON

■縦組み日英表記

年号あり

かがわ
マラソン
2026
KAGAWA MARATHON

年号なし

かがわ
マラソン
KAGAWA MARATHON

■大会スローガン併記

みんなで、よーい、どん!
かがわマラソン
KAGAWA MARATHON 2026

※ロゴに関しては商標登録申請中

◆ マラソン(42.195km)

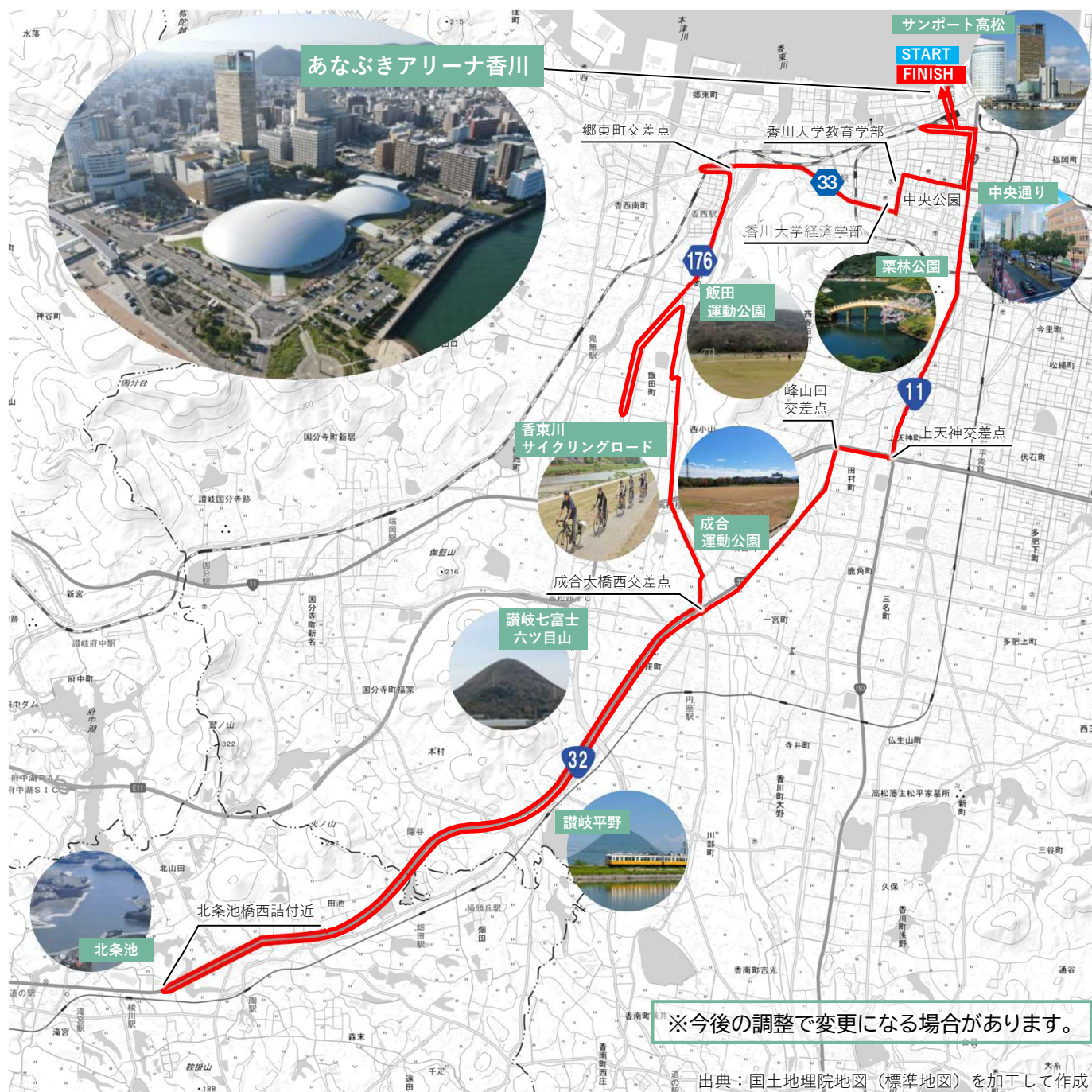
あなぶきアリーナ香川を発着とする都市型のコース設計。(日本陸上競技連盟公認取得予定)
ランナーや応援者のアクセスに優れ、快適でにぎわいあふれるスタート・フィニッシュ会場。

- ・ 高松の目抜き通りである中央通りを走り抜け、あなぶきアリーナ香川のメインアリーナ内でフィニッシュする非日常感あふれるコース
- ・ 瀬戸内海や島々、特別名勝「栗林公園」、里山、讃岐平野ののどかな風景など、香川の魅力や自然を満喫できるコース
- ・ 起伏を最小限に抑えたランナーにとって走りやすく、幅広い地域の方々に応援していただけるコース

<コース概要>

START:あなぶきアリーナ香川

→ サポート地下道 → 瀬戸大橋通り → 中央通り → 栗林公園前 → 上天神交差点 → 峰山口交差点 → 国道32号
→ 北条池橋西詰付近【折返し】→ 成合大橋西交差点 → 香東川 成合運動広場付近 → 香東川(サイクリングロード)
→ 香東川 飯田運動広場付近 → 県道176号【折返し】→ 郷東町交差点 → 県道33号【折返し】→ 香川大学経済学部前
→ 香川大学教育学部前 → 中央公園前 → 中央通り → 瀬戸大橋通り → サポート地下道

FINISH:あなぶきアリーナ香川

◆ 高松ファンラン(約3km)

あなぶきアリーナ香川を発着とし、ランナーや応援者のアクセスに優れた、快適でにぎわいあふれるマラソン体験。

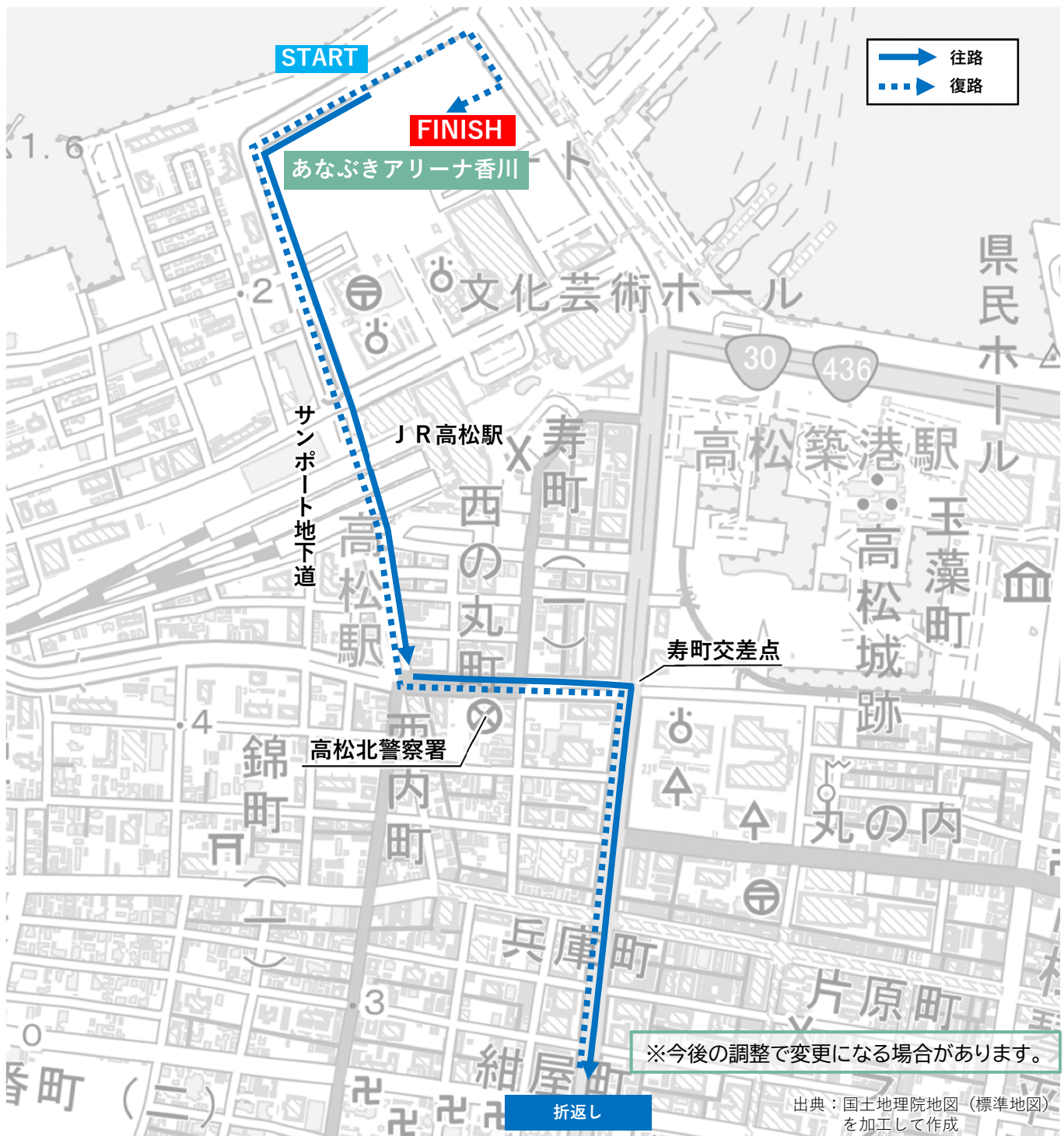
- ・ 高松の目抜き通りである中央通りを走り、あなぶきアリーナ香川のメインアリーナ内でフィニッシュする非日常感、特別感のあふれるコース

<コース概要>

START:あなぶきアリーナ香川

→ サンポート地下道 → 瀬戸大橋通り → 中央通り【折返し】→ 瀬戸大橋通り → サンポート地下道

FINISH:あなぶきアリーナ香川



◆ 高松ファンラン(約1km)

あなぶきアリーナ香川周辺を走る、誰もが楽しめ、にぎわいあふれるマラソン体験。

- ・瀬戸内海や島々を臨むあなぶきアリーナ香川周辺を走り、メインアリーナ内でフィニッシュする
非日常感、特別感のあふれるコース

<コース概要>

START:あなぶきアリーナ香川

→ サポート地下道前【折返し】→ シーフロントプロムナード前 → ハーバープロムナード前

FINISH:あなぶきアリーナ香川



出典：国土地理院地図（標準地図）を加工して作成

※今後の調整で変更になる場合があります。

◆ 大会スケジュール

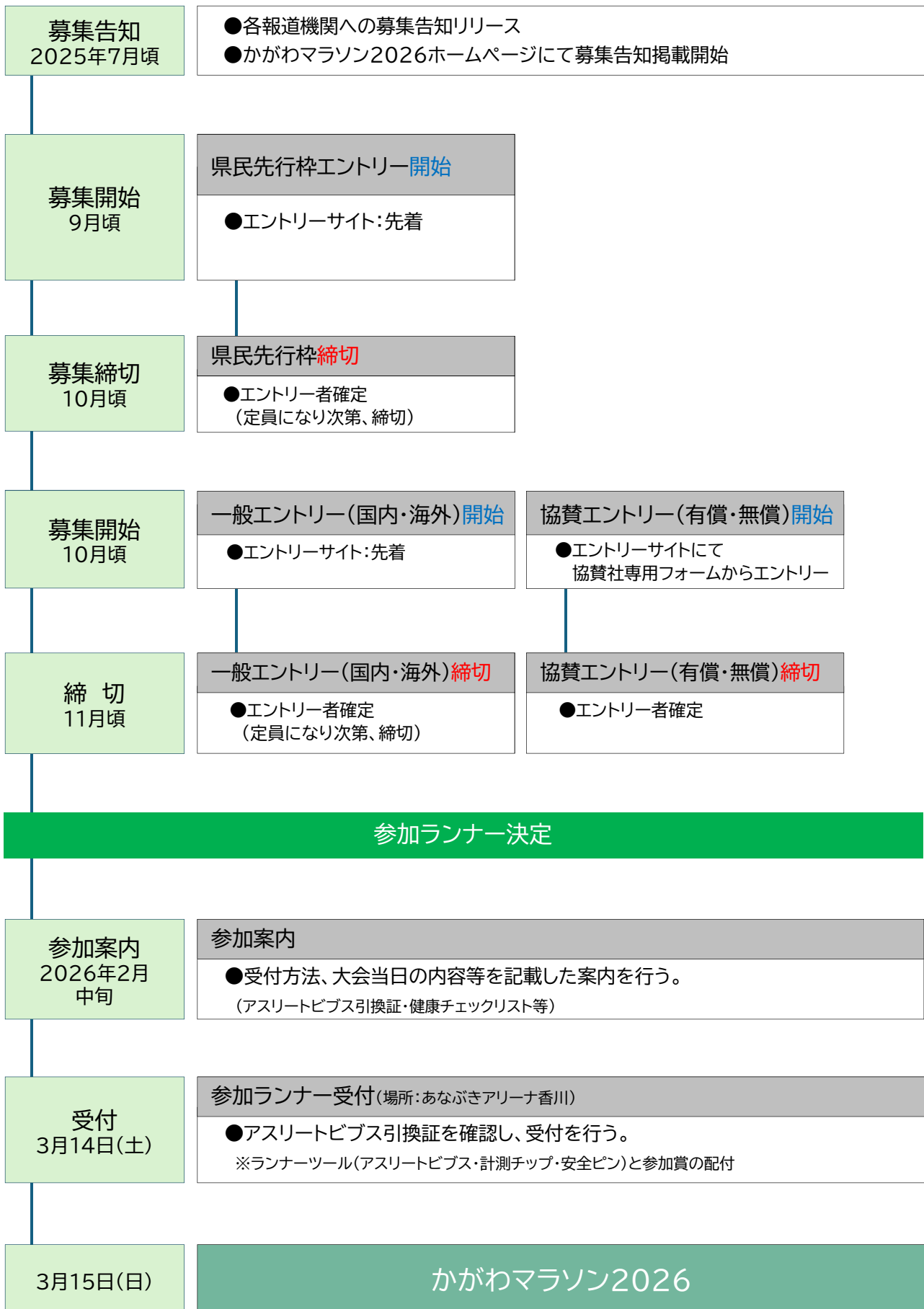
日程	時間	内容	場所
3月14日 (土)	10:00～19:00	かがわマラソンEXPO	あなぶきアリーナ香川 メインアリーナ
	10:00～19:00	ランナー受付(マラソン)	あなぶきアリーナ香川 サブアリーナ
3月15日 (日)	9:45	スタートセレモニー	スタート地点付近
	10:00	かがわマラソンEXPO (16:00頃まで)	調整中
	10:00	マラソンスタート	あなぶきアリーナ香川周辺
	10:30	高松ファンラン(約3km)スタート (一般の部/ファミリーの部)	あなぶきアリーナ香川周辺
	11:30	高松ファンラン(約1km)スタート	あなぶきアリーナ香川周辺
	12:00	フィニッシュ地点盛り上げ演出 (16:00頃まで)	あなぶきアリーナ香川 メインアリーナ
	14:00	マラソン(男女)表彰式	あなぶきアリーナ香川 メインアリーナ
	16:00	マラソン終了	

※時間/場所については今後変更になる場合があります。



2.競技運営計画

◆ エントリーについて



- ・ランナーは公共交通機関等を使用し、受付会場にご来場いただく。
- ・ランナー受付会場へはランナーのみ入場可とし、EXPO会場は一般来場者の入場も可能とする。
- ・スタート・フィニッシュ会場はあなぶきアリーナ香川周辺及び、屋内スペースを活用。
スタートブロックを設定し、スタート前のランナー整列エリアを確保する。
- ・手荷物預かりの実施、更衣スペースの設置を行う。
- ・あなぶきアリーナ香川メインアリーナをフィニッシュ会場とし、フィニッシュしたランナーにはランナーサービスを提供する。

日程	ランナー(マラソン)	ランナー(高松ファンラン)
前日 3月14日 (土)	① ランナー受付へ来場 ▼ ② ランナー受付、参加賞の受け取り ▼ ③ EXPO会場へ	※高松ファンランは受付無し アスリートビブス等は事前送付 ① EXPO会場へ来場
▼		
当日 3月15日 (日)	① スタート会場へ来場 ▼ ② 必要に応じて更衣室を利用 ▼ ③ 指定された場所で手荷物を預ける ▼ ④ ランナーサービス(給水)やトイレを案内し、スタートブロックへ移動 ▼ ⑤ スタートセレモニーに参加 ▼ ⑥ 10:00 マラソンスタート ▼ ⑦ コース沿道では給水・給食所の利用 香川らしさを感じていただける沿道応援を体験いただく。 ▼ ⑧ マラソンフィニッシュ ▼ ⑨ ランナーサービス 給水、完走賞の受け取り、計測チップの回収 など ▼ ⑩ 手荷物返却にて手荷物を受け取る ▼ ⑪ 更衣室の利用 ▼ ⑫ 入賞ランナーは表彰式へ ▼ ⑬ EXPO会場へ ▼ ⑭ 帰路へ	① スタート会場へ来場 ▼ ② 必要に応じて更衣室を利用 ▼ ③ 指定された場所で手荷物を預ける ▼ ④ ランナーサービス(給水)やトイレを案内し、スタートブロックへ移動 ▼ ⑤ スタートセレモニーに参加 ▼ ⑥ 10:30 高松ファンラン(約3km)スタート (一般の部/ファミリーの部) 11:30 高松ファンラン(約1km)スタート ▼ ⑦ あなぶきアリーナ香川周辺を楽しくランニングして、かがわマラソンを体験いただく。 ▼ ⑧ 高松ファンラン全種目フィニッシュ ▼ ⑨ ランナーサービス 給水、完走賞の受け取り ▼ ⑩ 手荷物返却にて手荷物を受け取る ▼ ⑪ 更衣室の利用 ▼ ⑫ EXPO会場へ ▼ ⑬ 帰路へ

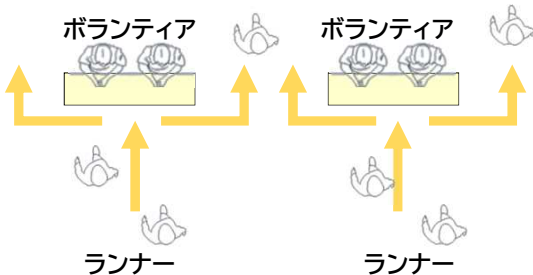
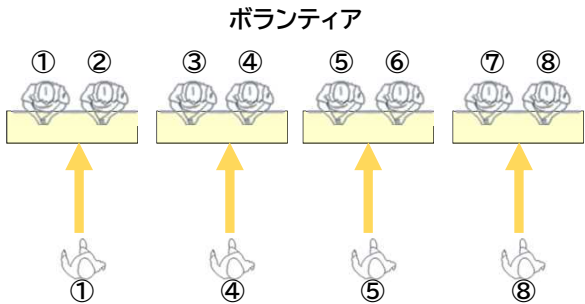
◆ 基本的な考え方

- ・ランナー受付及びEXPOをあなぶきアリーナ香川内で実施する。
- ・一般来場者と参加ランナーの動線分離や混雑緩和等、安心安全な運営を行う。
- ・来場方法は公共交通機関を推奨し、駐車場は設定しない。

◆ ランナー受付

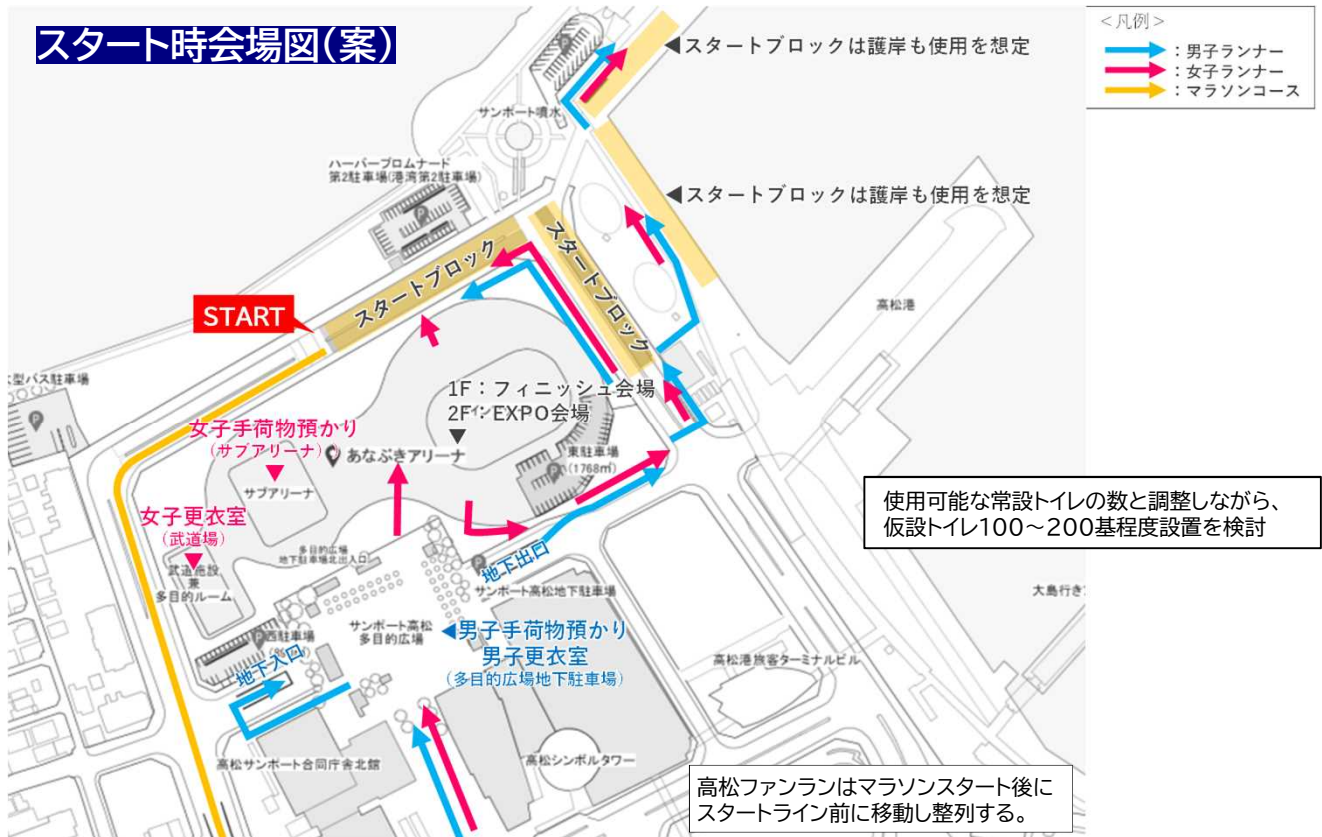
日 程： 3月14日(土)

会 場： あなぶきアリーナ香川

ランナー	内容
①IDチェック ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	「アスリートビブス引換証」と「本人確認書類」でランナーの本人確認(自由窓口) <IDチェックイメージ> 
②アスリートビブス引換 ▼ ▼ ▼ ▼ ▼	「アスリートビブス引換証」を預かり、アスリートビブスセットをお渡し(指定窓口) <受付窓口イメージ> 
③参加賞引換	参加賞のお渡し(サイズがある賞品の場合は指定窓口)

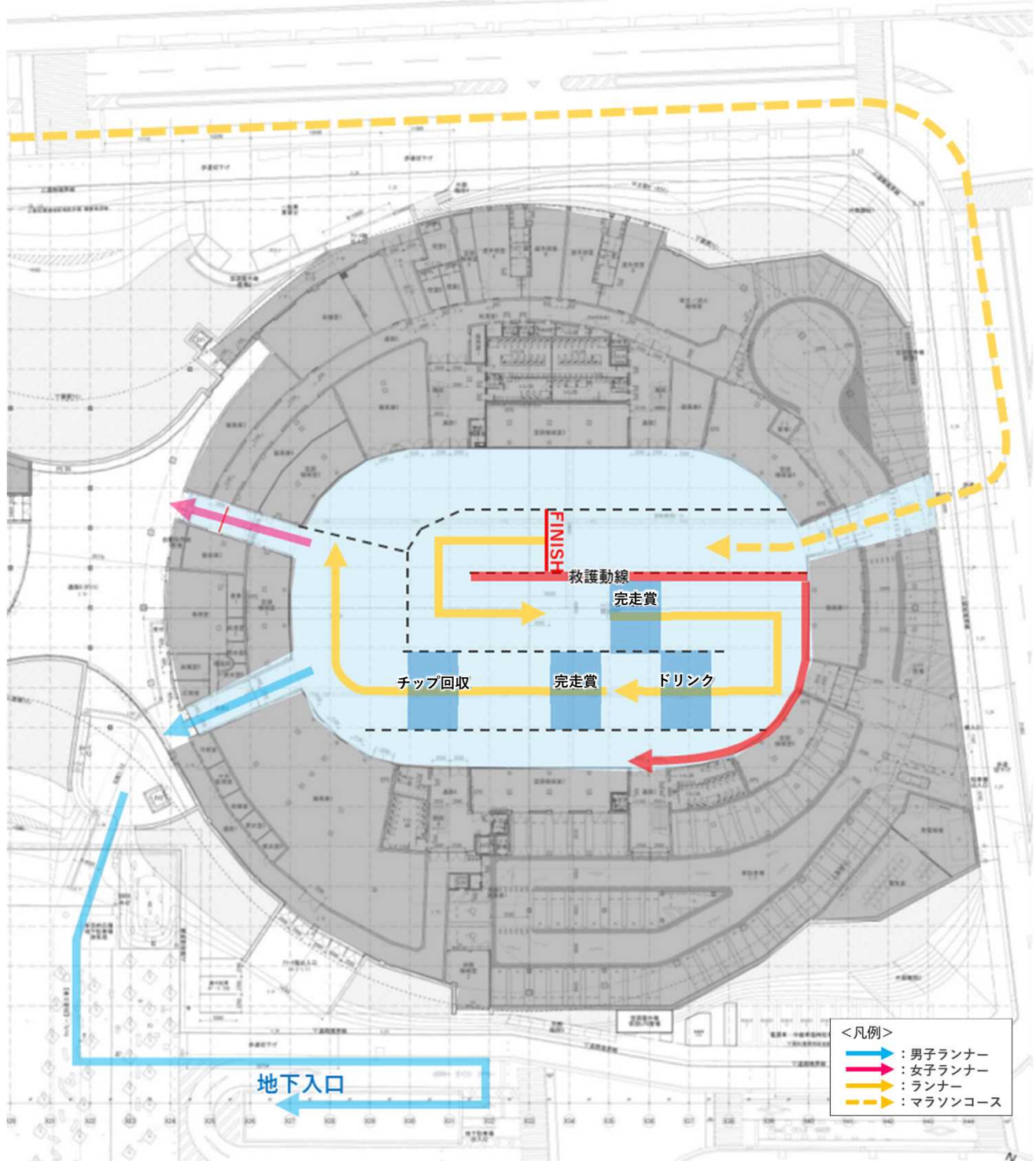
◆ 基本的な考え方

- ・ あなぶきアリーナ香川周辺および屋内施設を使用したスタート・フィニッシュ会場計画とする。
- ・ マラソンは予想タイム順にスタートブロックを割振り、整列させる。



◆ フィニッシュ後のランナー動線

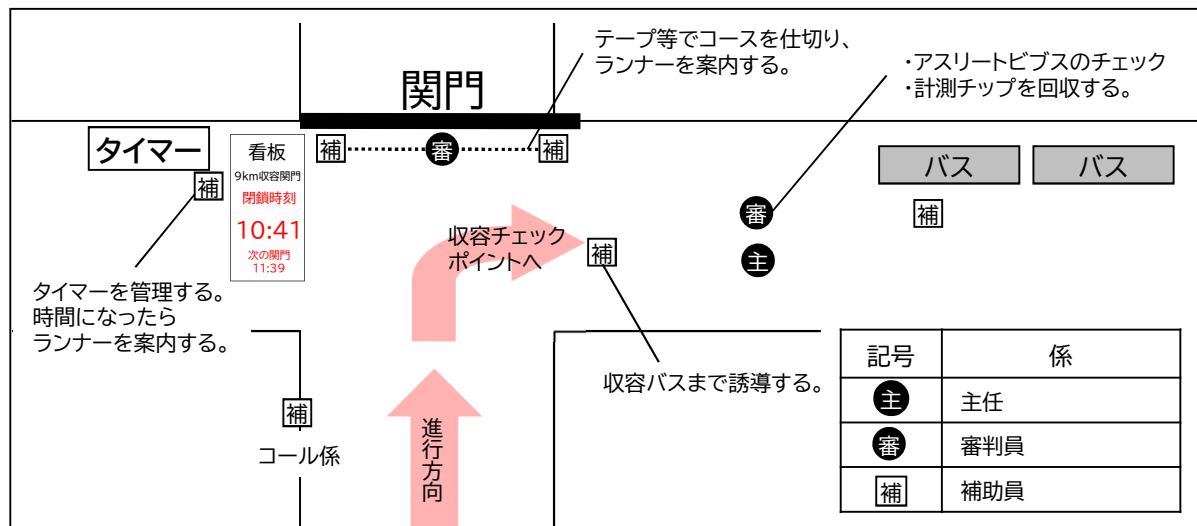
- ・ あなぶきアリーナ香川のメインアリーナ内にフィニッシュ地点を設定。
- ・ フィニッシュ後にランナーサービスを提供し、男女に分け手荷物返却へ誘導する。



◆ 基本的な考え方

- ・ 速やかな交通規制解除のため、地点と時間を考慮し、収容関門を設定する。
- ・ 収容関門に収容されたランナーは、収容バスに乗車しフィニッシュ会場へと移動する。
- ・ 閉鎖時刻前でも、明らかに閉鎖時刻までに到達できないと審判員が判断したランナーは、競技中止を指示することがある。
- ・ 体調・気分の優れないランナーのために、救護所を併設する。

◆ 設置イメージ



◆ 収容関門について

- ・ 収容関門はコース上に概ね5km間隔で、8か所程度もうけ、ランナーを確実に収容できる体制を整える。
- ・ 各収容関門に1～4台ずつの収容バスを配備する

◆ 関門収容バス、最後尾収容バスについて

- ・ 参加ランナーが収容関門以外で途中棄権する場合は、コース上の審判員に途中棄権を申告し、下記いずれかの方法でフィニッシュへ移動する。

① 次の関門まで行き、関門収容バスに乗車する。

② 最後尾収容バスに乗車し、次の関門で関門収容バスに乗り換える。

※最後尾収容バスとは、最後尾ランナーの後ろを走行し、収容関門以外で途中棄権するランナーを拾って次の関門まで乗せて行くバス

※バス台数は、天候などにより人数が左右されても対応できるよう多めに配備



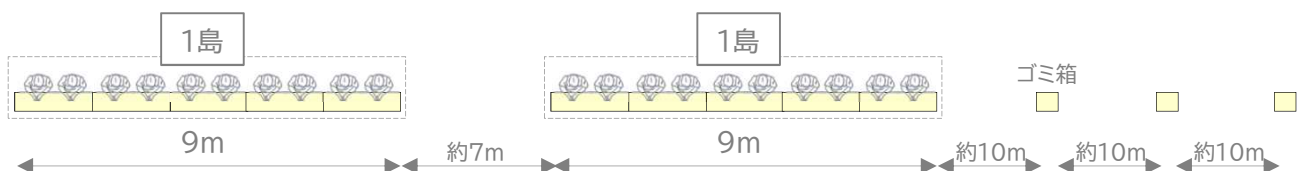
第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 基本的な考え方

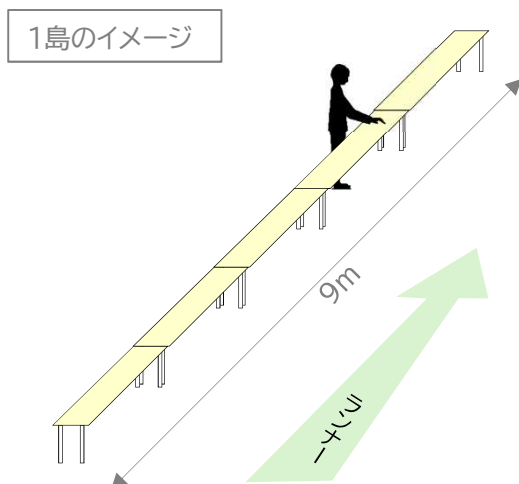
- ・ スタートから5km以降、概ね3km間隔で12か所程度の給水・給食所を設置する。
- ・ 各給水・給食所では、スポーツドリンク・水を提供するほか、10km以降は給食を提供する。
- ・ コース上に設置し、過不足なく10,000人に提供できる給水給食量を計画する。
- ・ 前日に給水所付近に備品を納品できる場所を選出する。
- ・ 香川県らしい食材をランナーに提供する給食を検討する。

◆ 設置イメージ

- ・ コース幅が十分にあり、10,000人規模の物量を提供できるスペースがあるところに給水所の設置を行う。
- ・ 道路の幅員によりテーブルの数、島数(給水テーブルの固まり)を検討する。
※1給水所に対して6～8島を想定
- ・ 給水所ごとに応じた適切な水分量配分を算出し、設置する。



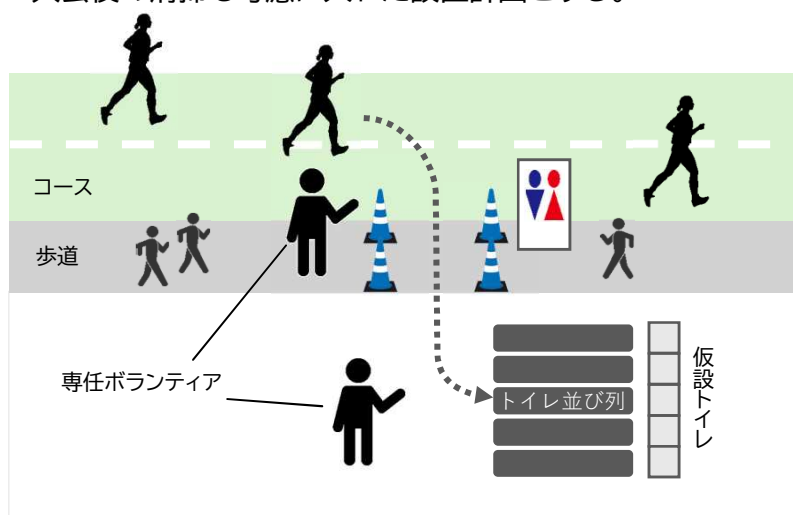
ランナー



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 沿道仮設トイレ設置計画

- 概ね2km間隔でコース沿道に20か所程度、仮設トイレ(合計200基程度)を設置する。
※別途、スタート・フィニッシュ会場には、使用可能な常設トイレと調整しながら、仮設トイレ100~200基程度設置を検討(再掲)
- 沿道の公共施設、事業者、駐車場等との調整を行い、設置場所の計画を行う。
- スタート付近に近いほど多く設置するなど、設置数のバランスを鑑みた計画とする。
- 仮設トイレへの誘導が安易かつ分かり易い場所に設置する。
- 利用時のランナーと一般通行者との接触、衝突を防ぐため、専任ボランティアを配置する。
- 大会後の清掃も考慮に入れた設置計画とする。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 記録計測計画

- 記録計測箇所はスタート地点、フィニッシュ地点、5km毎、中間点を基本とした計画とする。
- 事前に計測地点の感度テストを実施し、使用する計測チップ(シューズに着けるタイプ、アスリートビブスに着けるタイプ)の検討を行う。

◆ 審判員配置計画

- 競技運営上必要な箇所に審判員を配置した計画とする。
- 香川丸亀国際ハーフマラソンの実績をベースに審判員の配置を検討する。
- 審判員に代わり行政職員やボランティアが活躍できる運営箇所については審判員と連携した運営マニュアルを策定する。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 基本的な考え方

- ・ 人命を第一に考え、一刻も早い一次救命処置体制と救急搬送体制を確立する。
- ・ 安心安全に参加できるよう、一般スタッフ向けの通報フロー、救護スタッフ向けの救護マニュアルを関係機関と協議しながら作成する。

【救護所の設置】

スタート、フィニッシュ、コース沿道に救護所を設置(沿道は4km～5km毎)し、医師、看護師をはじめとする救護スタッフを配置する。

【救急搬送体制の構築】

消防と連携し、救急時の連絡系統や搬送ルート、協力病院、救急病院との連携を確立。

なお、サイクリングロード(約1.6km)については入口、出口及び途中の車両がアクセスできるポイントに救護搬送拠点を置くなど、特別な救急搬送体制を構築する。

【コース上にAEDの配置】

心肺停止の発生に備え、コース後半に多く配置する等、発生の可能性が高い箇所へAEDの配備を計画する。

(配置案)

- ・ 救護所への配置 12台
- ・ コース沿道の配置 70台
- ・ 最後尾医務車への配置 1台
- ・ フィニッシュエリア巡回チーム 5台

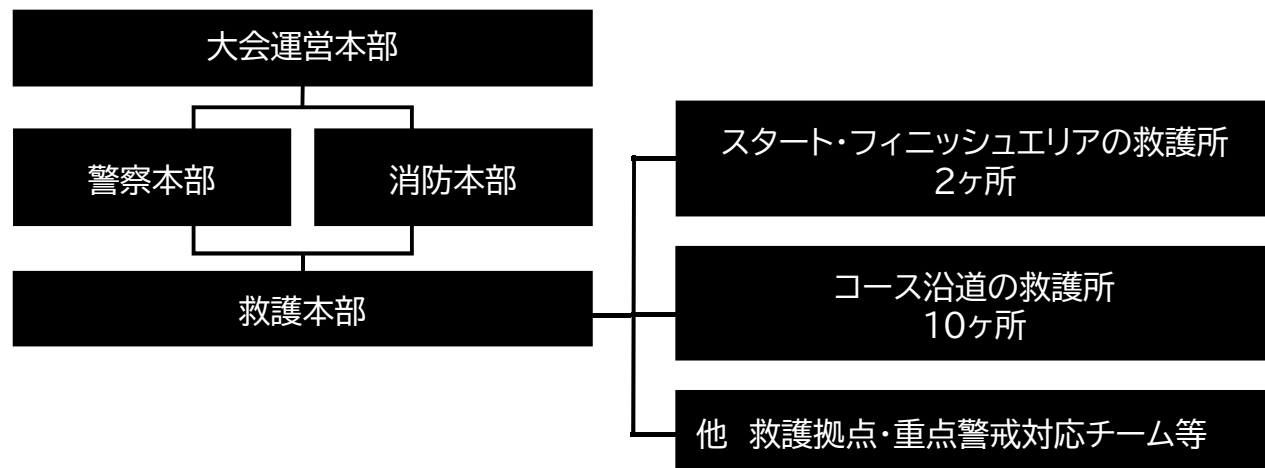
【救護ランサポーターの配置】

走行しながらランナーの安全を観察するランサポーターの配置を計画する。

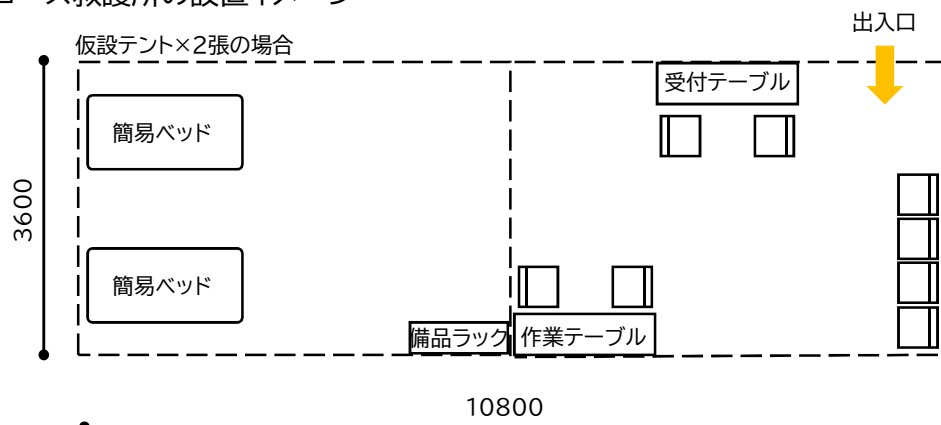


第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 組織体制図



※コース救護所の設置イメージ



◆ 基本的な考え方

- 香川らしさを打ち出した華やかな演出と、温かみのあるおもてなしで、大会をより印象づけるセレモニーを目指す。

◆ スタートセレモニー

- かがわマラソンの開催を告げるセレモニーの実施。

■ 名称	：	かがわマラソンスタートセレモニー
■ 日時	：	2026年3月15日(日) 9:45～10:00
■ 場所	：	スタート地点
■ 式次第	：	1. 開会宣言 2. 香川らしいアトラクション※今後出演候補など要調整 3. 主催者挨拶 4. ゲストの紹介 5. マラソンスタート(号砲)

◆ 表彰式

- マラソン:男女の上位8位を表彰する。

■ 名称	：	かがわマラソン表彰式
■ 日時	：	2026年3月15日(日) マラソン 14:00～14:30
■ 場所	：	あなぶきアリーナ_メインアリーナ内で調整
■ 式次第	：	1. 入賞者紹介 2. 男子表彰 記念品授与 3. 女子表彰 記念品授与 4. フォトセッション 5. 閉式挨拶

◆ フィニッシュ演出

- かがわマラソンのフィニッシュ地点での演出。

■ 日時	：	2026年3月15日(日) 12:00～16:00
■ 場所	：	あなぶきアリーナ_メインアリーナ内で調整
■ 内容	：	ランナーのフィニッシュ達成の喜びを最大限引き出すため 装飾、アナウンス、BGM等で高揚感を高める演出を実施する。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

3.運営計画

◆ 基本的な考え方

- 団体ボランティア(企業、学校、スポーツ団体等)と個人ボランティアに分けて大会運営に従事いただくボランティアを募集する。

◆ ボランティア配置想定場所

- 定員を約2,900名とし、以下の場所で大会運営に従事いただく。

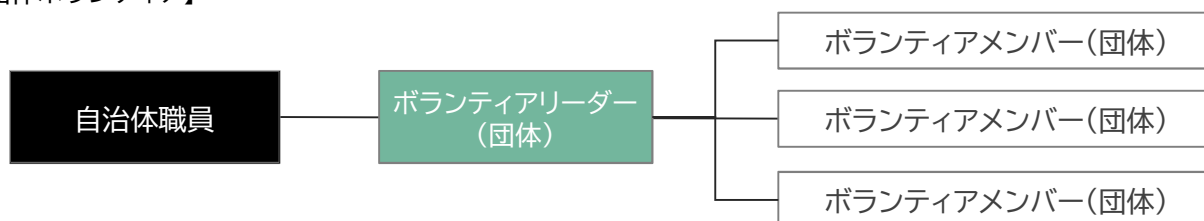
活動日	場所	主な内容
3月14日 (土)	あなぶきアリーナ香川	●ランナー受付 ●参加賞配布 ●会場案内・誘導
3月15日 (日)	スタート・フィニッシュ会場 (あなぶきアリーナ香川)	●会場内(更衣室・トイレ・スタート場所等)の誘導 ●手荷物預かり・返却 ●スタート前給水 ●フィニッシュしたランナーへ完走賞の配布
	給水・給食所	●資機材の設置・撤去 ●飲み物・食べ物の提供 ●ごみの回収
	コース上	●コースの設営・撤去 ●コースへの観衆の飛び出し・横断防止 ●ランナーのトイレ誘導 ●プラカード(距離表示など)の掲出

◆ ボランティアリーダーの設定

- 各ボランティアの集合、点呼など、ボランティアを取りまとめる役割を担う「ボランティアリーダー」を設定する。
- ただし、団体ボランティアのみに設定し、個人ボランティアには設定しないものとする。

体制イメージ

【団体ボランティア】



【個人ボランティア】



◆ 参加条件

- ・ 中学生を除く15歳以上(18歳未満は保護者の同意が必要)は、個人で参加可。
- ・ 中学生は、保護者又は教員と同じグループ・団体で参加可。
- ・ 活動日に指定の場所・時間で活動が可能であること。
※活動は立ったままでの活動が主となる。
- ・ リーダーは、主催者が指定する日に、説明会に参加可であること。
- ・ 主催者が指定する期間、場所にウェア等の支給物品の受取が可能であること。
- ・ 日本語の日常会話と読み書きが可能であること。
- ・ その他、主催者が定めるボランティア参加の注意事項を遵守し、活動できること。
(主催者が参加団体として適切でないと認める場合、ご参加いただけない場合がある。)

◆ 支給物品

- ・ ウェアを支給。
※交通費、食事、飲み物、その他報酬は支給しない。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより



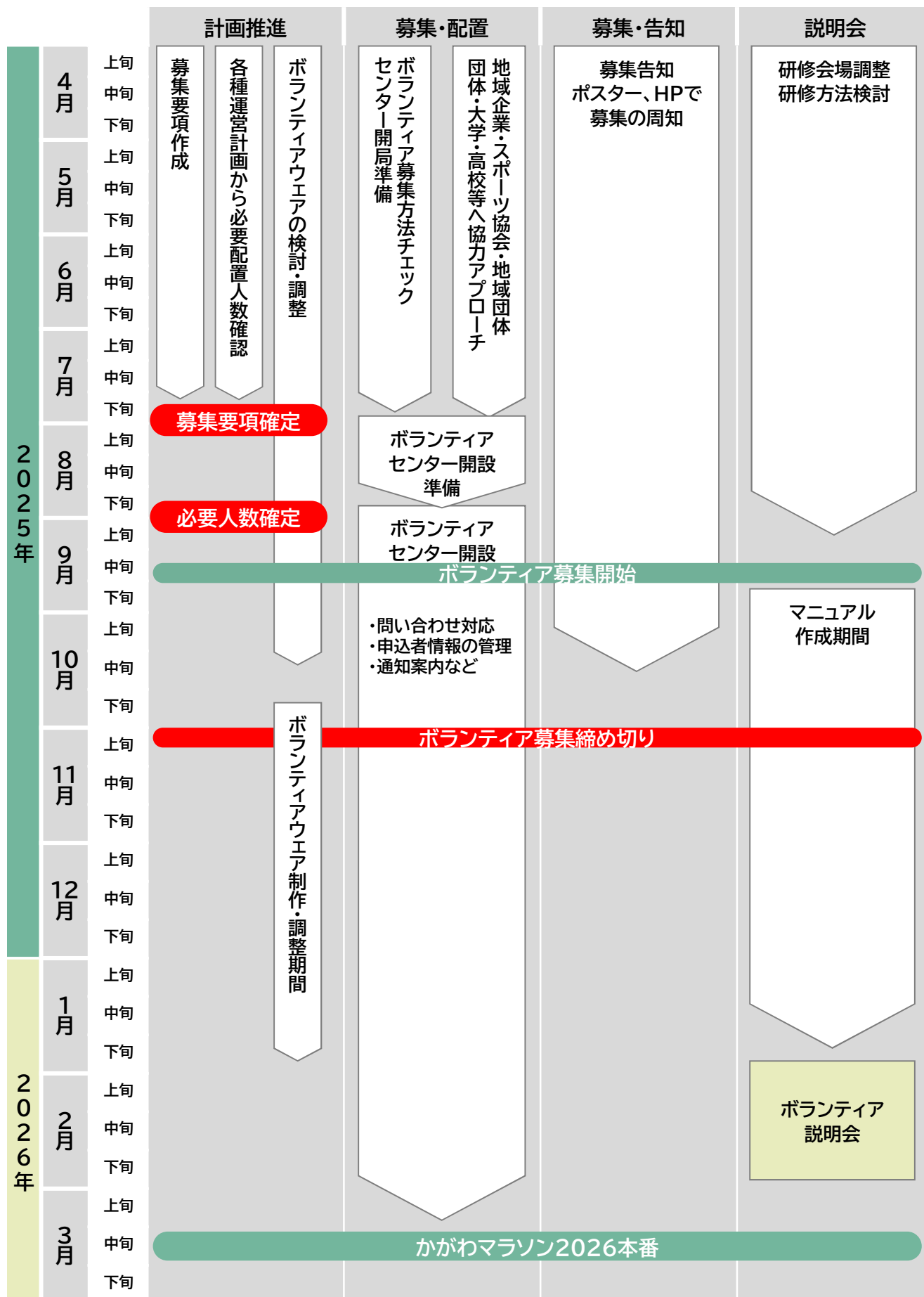
第77回香川丸亀国際ハーフマラソンより



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 募集から大会当日までのスケジュール

- 9月中旬～11月上旬にかけて募集し、マラソン1か月前を目途に説明会を終え、本番を迎える。



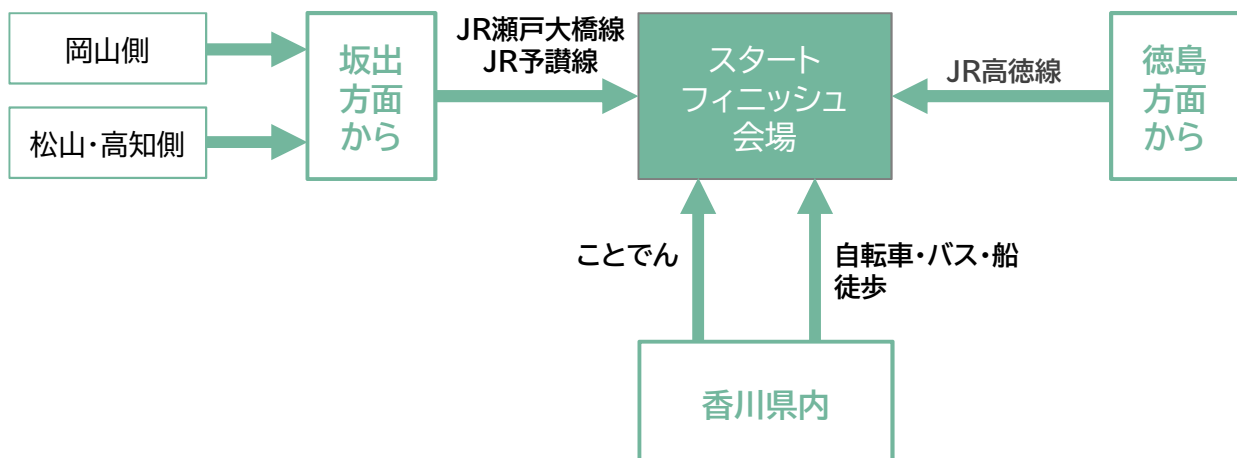
◆ 基本的な考え方

- ・ マラソン当日はノーマイカーデーに設定し、HP・SNS等で周知し、交通量の抑制を呼びかける。
- ・ コース沿道自治会、沿道施設等への説明、交通規制チラシ・ポスターを配布し、協力を呼びかける。
- ・ 交通系各団体(バス、タクシー、トラック等)を通じた交通規制の周知、徹底。
- ・ ランナー、応援者に対する公共交通機関利用の周知、徹底。
- ・ 道路上に設置する事前告知看板、歩道橋幕等により、ドライバーへの周知を図る。

		2025年												2026年		
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体		●沿道合意形成→ ●大会HPオープン ●ランナー募集開始→												●開催 ●ランナーへの参加案内		
総量抑制計画	沿道合意形成の一環としての ・沿道自治会、大型施設、大型店舗等へのコース説明 ・トラック、バス、タクシー、旅行協会等へのコース説明															
	大会HP・SNSを通じた ・ノーマイカーデーの設定、周知 ・ランナー、応援者に対する公共交通機関利用の周知、徹底															
	県・市・町関連媒体(HP・SNS・広報誌)による広報															
	交通規制広報ツール(チラシ、ポスター等)による ・沿道施設(公共施設、協力店舗)等への掲出、設置配布 ・沿道自宅、店舗等へのポスティング、設置配布 ・交通系協会(バス、タクシー、トラック等)を通じた周知															
	連携メディア(TV、ラジオ、新聞等)による告知															
事前告知看板、歩道橋幕等による周知																

◆ スタート・フィニッシュ会場への参加者のアクセス

- ・ 会場の交通アクセスのよさをPRし、公共交通機関の利用促進を行う。



◆ 基本的な考え方

- 大会開催中の事件事故を防止し、円滑な運営を行うため、警察、消防等の関係機関と協力し、綿密な調整・連携・情報共有を行い警備を実施する。

◆ 交通対策

<資機材・看板の準備及び警備配置>

- 交通規制に必要な案内看板、鉄柵、カラーコーン、バー、コーステープ等の設置マニュアルを策定する。

<歩行者・自転車対策>

- 歩行者・自転車は予め横断個所を設定し案内する。
- 車いすについては審判員・ボランティアにより、ランナーに走行注意を呼びかけながら横断させる。

<関係機関との情報共有・連絡体制>

- 警察、消防をはじめとする関係機関との綿密な打ち合わせを基にマニュアルを作成する。
- 広範囲となる交通対策をスムーズに運営できるように、通信連絡体制を構築する。

<緊急車両の対応>

- 救急車、消防車等の緊急車両の通行を最優先する。
- 緊急車両の通行に支障となる場合は、必要に応じてランナーを停止させる。

<路上駐車防止>

- 事前広報及び、大会前日の夜中からコース上の路上駐車防止対策を行う。

◆ 安全対策

<ポイント抽出による対策>

- スタート／フィニッシュ会場での重点的に対応するポイントを抽出し安全対策を講じる。
- 会場からJR高松駅までの円滑な誘導のためのマニュアルを策定する。

<規制エリア設定による雑踏対策>

- 会場にはランナー／スタッフ専用エリアの設定や一般通行者の動線を確保することで安全に配慮した運営マニュアルを策定する。



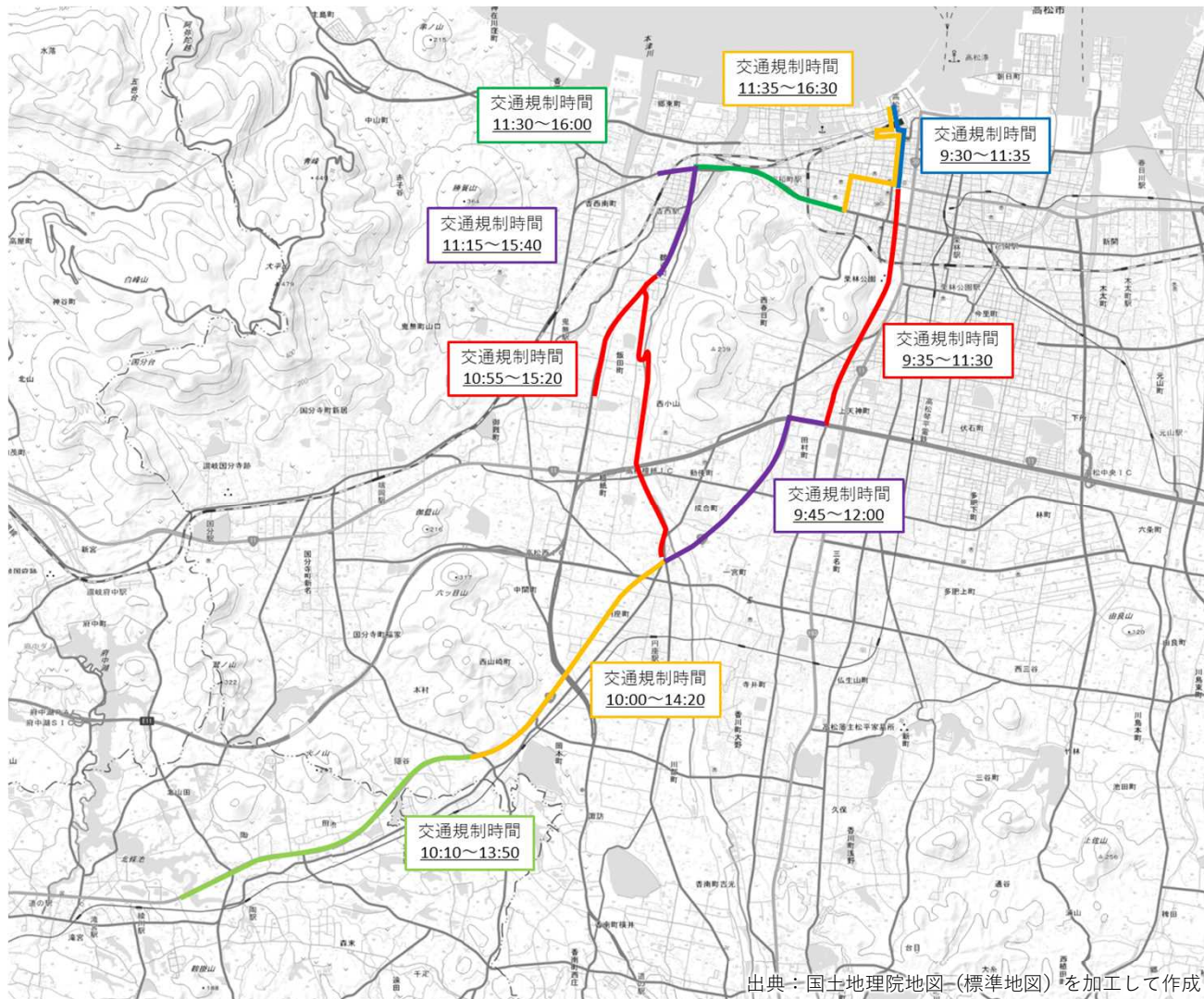
第77回香川丸亀国際ハーフマラソンより



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 交通規制時間設定の考え方

- 開始時間：先頭ランナー通過の概ね30分前
- 解除時間：最後尾ランナー通過の概ね30分後
- ※レースのスタート時間は10:00、制限時間6時間で算出
- ※交通規制想定時間は以下のとおり



※交通規制時間については今後変更になる場合があります。

運営計画 警備・誘導計画

◆ 基本的な考え方

<警備員の配置について>

- 車両誘導、交通規制、雑踏整理等の安全対策が必要な箇所に警備員を配置する。
- 警備幹事会社を設定し、警備員の円滑な命令系統を構築する。

<誘導について>

- 多くのランナーが一同に集まる会場については、スタートブロック別の誘導や強制動線の設定等でスムーズで安全な誘導マニュアルを策定する。

◆ 基本的な考え方

- 人命にかかわる事案を最優先事項とし、参加ランナーの安全はもちろんのこと、近隣住民、道路利用者の安全・利便性を考慮し、主催者が関係機関と協議の上、開催の可否判断を行う。

◆ 緊急時の定義

【天候事案】積雪、凍結、暴風、大雨、雷、台風、洪水 等

- 大会当日までの設営及び当日の実施に関わる天候の予測、状況を判断し、実施・中止の決定を判断する。

【自然災害・その他事案】震災、新型インフルエンザ、テロ予告、大規模事故 等

- 大会当日まで及び当日に香川県下及び国内において発生した自然災害、その他事案に対し、ランナー及びボランティアなど参加者等の安全確保の状況を鑑みて、実施・中止の決定を判断する。

◆ 判定会議の設置

第1回判定会議	大会1週間前 【判定事案】台風、震災、新型インフルエンザ、テロ予告など
第2回判定会議	大会前日 16時 【判定事案】天候事案、自然災害、テロ予告、大規模事故など
(第3回判定会議)	大会当日 午前4時 大会本部 【判定事案】天候事案、自然災害、テロ予告、大規模事故など ※状況に応じて開催判断を行う。

天候の影響によるランナー受付時間の延長については、随時協議を行う。

※開催の可否については、当日の午前5時に大会HPにて公表を行う。

※第3回判定会議については、第2回で決定できない事案、あるいは突発的な事案が発生したときに開催する。

※上記決定後、大会開催中に突発的な事案が発生した場合、判定会議を別途開催する。

※大会実施中の緊急事案は別途要検討。



4.地域の 盛り上げ計画

◆ 基本的な考え方

初開催！県をあげてのプロジェクト「かがわマラソン」

- 大会前や当日に、様々な関連イベントをマラソンの会場やコース沿道で実施する等、県民全体が新しい“お祭り”として楽しんで参加してもらえる施策を展開する。
- 香川丸亀国際ハーフマラソンをはじめ、県内マラソン大会との連携を図る。
- 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた各種取り組みを検討・実施する等、県民全体で応援したくなるサステナブルな大会づくりを目指す。
- マラソンをきっかけとした学びの機会を提供する等、子どもから大人まで目標にチャレンジできる大会づくりを推進する。

展開案①

マラソンのエントリー枠に県民先行枠を設定し、県民が参加しやすい大会を目指す。
また、マラソン初心者でも参加しやすく、参加可能となる対象者が広い高松ファンランを設定し、開かれた大会づくり・みんなが楽しく参加できる大会づくりを推進する。
※高松ファンランについては、実施計画書P7に詳細を記載

展開案②

従来のマラソンファン並びに広く一般の方々にも知名度の高いゲストを大会アンバサダーとして招致することで県民からの関心を創出し、楽しみとなる大会を目指す。
かがわマラソンをきっかけに運動・スポーツへの関心を高め、県民の健康増進を図る。
※大会アンバサダーについては、実施計画書P33に詳細を記載

展開案③

香川丸亀国際ハーフマラソンとかがわマラソンの両方にエントリーした方に特典を用意するなどにより、両大会の参加者増につなげる。

展開案④

オリジナル応援のグッズ制作や地元商店街等と連携した応援企画など、ランナーとしての参加だけでなく、応援やおもてなしでの参加を含む県民全体の参加促進を狙う。
県民、市民、企業、団体、学校など、多くの方々との連携を模索するほか、アップサイクルのオリジナルグッズ開発等を通して環境負荷の軽減を図る等、サステナブルな大会づくりを目指す。

展開⑤

県内マラソン大会、かがわマラソンPRサポーター隊や地元ランニングクラブと連携し、オフィシャルの練習会を実施。初めてのマラソンでも安心して始められる体制とし、学びの機会を提供する等、子どもから大人まで目標にチャレンジできる大会づくりを推進する。
インフルエンサー等とのコラボによるランナーズクリニックなども検討する。

かがわマラソンPRサポーター隊とは

かがわマラソンを国内外にPRする「大会PRサポーター隊」(登録者:約300名)を令和7年1月に結成。県内外のマラソン大会や普段の練習においてPR用Tシャツを着用しPRするほか、SNS等でその様子を発信することで、第1回大会の開催を広く周知する。



◆ 基本的な考え方

- ・ スタート・フィニッシュ会場として使用するあなぶきアリーナ香川及び周辺施設をEXPO会場として活用。EXPOは参加するランナーだけでなく、応援者等の一般来場者も入場可能とし、県産品等と一緒に楽しめるイベントとして県全体のPRを実施。
- ・ EXPO会場内にステージを設置、伝統芸能・ブラスバンド・ダンス等のお披露目場・企業タイアップイベント等も実施予定。
- ・ サステナブルな大会づくりを目指す各種取り組みを子どもから大人まで分かりやすい形式で紹介。

◆ 実施概要

- 日程：2026年3月14日(土) 10:00～19:00
2026年3月15日(日) 10:00～16:00

- 場所：あなぶきアリーナ香川及び周辺施設



市町PRブース・県産品ブースの設置

市町の観光PRブースや県産品が飲食・購入できるスペースを、EXPO会場に設置。「さぬきマルシェinサンポート」とも連携し、県産品の認知度向上や交流促進を図る。



協賛社ブースの設置

かがわマラソンに協賛をいただいた企業様のPRブースをEXPO会場内に設置。EXPOにご来場いただいた方々に企業PRを行っていただく。(プランにより小間数等変更)



EXPOステージ

EXPO会場内にステージを設置。ステージでは大会内容の発表やゲストトークショー、伝統芸能・ブラスバンド・ダンス等のお披露目の場として使用予定。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

サステナブルな取り組み紹介

かがわマラソンのサステナブルな大会づくりを目指す各種取り組みを紹介するブースを設置。大会における環境負荷の軽減を図る取り組み等を、ワークショップなど子どもから大人まで分かりやすい形式で紹介する。



◆ 基本的な考え方

- 沿道応援エリアを設置し、地元各種団体にご協力いただく事で、太鼓、ブラスバンド、ダンスなどを披露する。
- 伝統文化団体にもお声がけし、香川県の伝統芸能でランナーを盛り上げると共に、文化を発信できる場としても活用する。

◆ 実施概要

- 日時 : 2026年3月15日(日) 10:00~16:00
- 場所 : コース沿道10か所程度
- 出演候補(案)
 - 県内キッズダンスグループ(団体)
 - 太鼓や獅子舞等県内の伝統芸能団体や学校
 - 県下の中学校・高校・大学の吹奏楽部や応援団
※県下の学校を中心に令和7年秋ごろから募集を想定



◆ 沿道応援設置場所

- 沿道応援設置場所に関しては
①各団体のアクセスのしやすさ ②応援場所のロケーション・広さ等を鑑みて、パフォーマンスしやすく、ランナーへの応援の思いがしっかり伝わる場所を選定。



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 基本的な考え方

- 元陸上競技選手 福土加代子氏 に大会アンバサダーとして大会運営面での助言、大会PRによる大会開催機運醸成など、大会全般にわたってご協力いただく。

◆ 大会アンバサダープロフィール

4大会連続五輪出場 世界選手権女子マラソン銅メダリスト

福土 加代子(ふくし かよこ)

1982年3月25日生まれ。青森県北津軽郡板柳町出身。

日本女子陸上選手初の五輪4大会(2004 アテネ ~ 2016 リオ)連続出場を果たす。

2002年には3000m、5000m 2006年には香川丸亀国際ハーフマラソンで当時の日本記録を樹立。マラソンでは、世界選手権(2013 モスクワ)で銅メダルを獲得、日本女子長距離界の第一人者として活躍。2022年、第一線を退く。現在はワコール女子陸上競技部のアドバイザーとして指導。

ランイベント「笑福駅伝」(自身が企画・運営・主催)を通じ、走ることの楽しさを伝える活動を行っている。



福土 加代子氏

5.地域経済への 波及計画

◆ 基本的な考え方

- ・ マラソン大会開催だけでなく、様々な事業と連携することで、経済波及効果の最大化を図る。
- ・ 地元商店街等と協力し、割引企画等県内の消費拡大を狙った施策を検討する。
- ・ 観光誘客を促進するため各市町及び関係各所と連携し、大会をきっかけとした交流人口の最大化を図る。

◆ 実施概要

事業展開案①

EXPO内での県産品のPR(再掲)

一般来場者も入場可能な県産品が飲食・購入出来るスペースを、EXPO会場に設置。



事業展開案②

ランナーお接待サービス

本県のお接待文化に触れていただき、再来訪いただけるよう、フィニッシュ後のランナーサービスとして県産品の配付やマッサージコーナーの設置など、ランナーへのおもてなしを充実させる。



事業展開案③

まちなかのにぎわいの創出

県立アリーナで開催されるイベント来場者に特典を提供する「サンポート スマートアクセス応援施設」、「まちなか アリーナ応援店」の取組みとも連動。ランナーの近隣施設やまちなか店舗等への回遊を促進し、街全体のにぎわい創出を行う。



事業展開案④

オリジナル応援グッズ・お土産制作

香川の地場産業とコラボした応援グッズをEXPO会場にて販売。大会当日の盛り上がりだけでなく、大会後の香川県のPRとしても活用可能。



事業展開案⑤

給水・給食で魅力ある香川の食を提供(再掲)

うどんやフルーツ、菓子など、香川の魅力ある食をコース上の給水・給食所で提供することで、ランナーの疲れた体に活力を与えとともに、香川の魅力を感じてもらうことで、大会後の購買意欲を醸成する。



事業展開案⑥

観光誘客促進事業

観光誘客の観点から「う！」を活かした市町オリジナルデザインのポスターを検討。国内外の旅行代理店との連携も検討する。
※「う！」については、P40に詳細を記載



6.協賛等計画

◆ 基本的な考え方

- ・ 大口協賛だけでなく、多くの地元企業から協賛を得ることで地域全体で支える大会づくりを行う。
- ・ 上位協賛ランク企業または配慮しなければならない業種の企業を除き、競合排除権を原則撤廃。
- ・ 協賛枠のすそ野を拡大し、地元企業に多数かつ多様に参画頂ける機会を創出。
- ・ 競技運営、大会運営に必要な物品・サービスにおいて、現物協賛を幅広く検討。

◆ 協賛企業の区分

- プラチナ … 1社
- ゴールド … 複数社
- シルバー … 複数社
- ブロンズ … 複数社
- サポーター … 団体・個人を含めた小口協賛等

◆ 協賛メリット例（区分に応じて利用いただける内容を設定）

- 呼称権・大会ロゴ使用权/商品化件・写真使用权
- アスリートビブスへの企業ロゴ掲載
- 公式プログラム広告への広告掲載
- 公式ポスター/ホームページ等大会事務局制作告知物への企業ロゴ掲載
- 大会当日制作物への企業ロゴ掲載
- 出走枠のご提供並びにキャンペーン利用権
- EXPOブースへの出展権利
- テレビCM、新聞広告(別途有償)

◆ 協賛企業募集方法

- ・ 基本となる協賛パッケージを整理、作成して県内企業を中心にアプローチ。
- ・ 同時に競技運営・大会運営に必要な物品、サービスを洗い出し、現物協賛が可能な企業へアプローチ。



7.広報計画

◆ 基本的な考え方

- かがわマラソンの魅力発信で参加者の拡大を図ると共に、交通規制の周知など、大会開催の周知広報を図る。また県内外メディアとも協力体制を作り、事前の盛り上げや当日の放送、記事掲載等を行い大会の機運醸成を図る。

◆ HP・SNSを使用した広報(県内・県外)

●公式SNSの活用及び公式HPの立ち上げ実施

大会情報をタイムリーに発信するため、公式SNSを活用する。また、公式HPを立ち上げ、大会概要をはじめエントリー方法やニュース等、大会に係る情報集約拠点とする。

公式SNSでは、よりタイムリーな大会情報の他、ゲストメッセージや観光情報の発信を行う。

Instagram



Facebook



X (旧: Twitter)



YouTube



Instagram	;	https://www.instagram.com/kagawamarathon/
Facebook	;	https://www.facebook.com/KagawaMarathon/
X (旧Twitter)	;	https://x.com/KagawaMarathon
Youtube	;	https://www.youtube.com/@かがわマラソン



◆ 県内メディアを使用した広報(県内)

●地元テレビ局・新聞社の協力による広報活動

地元テレビ局・新聞社と協力体制を作り、事前の盛り上げ、当日の放送、記事掲載、交通規制の周知等、県内に広く告知を実施する。

◆ ランナー向け広報(県内・県外)

- ランナー向け雑誌上での記事掲載、ランナー向けサイトでのかがわマラソンの告知を実施し、かがわマラソンの魅力発信を行う。

◆ その他広報(県内・県外・国外)

- かがわマラソンPRサポーター隊の活動紹介や連携企画を検討し、更なる大会の機運醸成を図る。
- 国外参加者拡大の為現地旅行代理店との協業を検討中。
- 大会メインビジュアルだけではなく「う！」を活かした各市町オリジナルデザインのポスターを検討。全市町が盛り上げに参画できるよう働きかけを行う。
※「う！」についてはP40に詳細を記載

◆ 基本的な考え方

- ・「う！」をキーワードとして、県全体で新しい“お祭り”として楽しんでもらえる施策各種を立ち上げ、機運醸成を図る。
- ・大会名やロゴ/大会スローガンを中心にポスター等の制作物を作成し、大会前、大会中の様々な舞台で露出を行い、かがわマラソンのPRを展開していく。

◆ 展開例

- ・「う！」で終わるメッセージを広く一般の方々から集め、かがわマラソンPR用の制作物デザインの一部として取り入れる等、ランナーだけでなくメッセージを書いた人なら誰もが当事者となれるような、参加型の施策を展開する。

かがわマラソンを走るランナーや応援する県民と一緒に取り組む、あんな企画やこんな企画も、色々「う！」まげに やってみよ

う！

◆ 制作物イメージ

●ポスター



●SNS用投稿画像



8.大会の収支見込み

◆ 収入の部

項目	計(千円)	内容
参加料	140,750	マラソン:14,000円 × 10,000人 等
協賛金	70,000	
負担金	255,511	香川県:170,341,000円 高松市: 85,170,000円
合 計	466,261	

◆ 支出の部

項目	計(千円)	内容
事業費		
大会・競技運営費	334,779	募集・エントリー業務 会場設営・撤去 記録計測業務、医事救護業務 参加賞・完走賞の手配及び配布 セレモニーの実施、ゲスト費 ボランティア募集・説明会の実施 等
警備・交通安全対策費	88,215	警備・誘導体制の整備 交通規制、迂回路の計画策定、実施 周知計画の策定・実施 等
広報・PR費	36,861	県内外・国外向けの大会PR計画策定及び実施 機運醸成イベントの実施 等
実行委員会運営費	6,406	需用費、役務費、使用料及び賃借料 等
合 計	466,261	

※収入の増減によって施策内容を調整

9.年次計画

◆ 令和7年度

区分	2025年									2026年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	大会開催制作期											
	●大会公式HP・SNS等による発信			●大会発表			●ボランティア募集開始	●ランナー募集締切			●各種説明会	
							エントリー期間					
大会概要	大会要項作成	募集要項作成										
	地元調整											
コース計画	沿道施設マニュアル作成						●本計測			納品	●陸連公認コース図	
	コース図作成											
拠点会場計画	マニュアル・図面作成 (スタート・フィニッシュ等) サイン計画									納品	●マニュアル	
エントリー計画	歩留まり設定、招待選手候補 調整			エントリーサイト作成			招待選手等調整			採番		
競技運営計画	マニュアル作成				●仮計測		●本計測			納品	●陸連公認マニュアル	●説明会実施
	配置作業											
ボランティア職員等	マニュアル作成									納品	●マニュアル	●説明会実施
	配置作業											
警備計画	警備マニュアル作成									納品	●マニュアル	●予告看板設置
	看板設置・沿道調整											
医事救護計画	マニュアル作成									納品	●マニュアル	●説明会実施
	配置作業											
セレモニー関連事業	台本・マニュアル作成									納品	●マニュアル	
	各種調整									台本納品		
協賛	露出内容検討	露出期間										
	スポンサー対応期間											
広報	大会情報の周知											
	ノーマイカーデーの周知									交通規制の周知		
ツール	デザイン作成			制作		●募集ツール納品		制作			●ランナーツール納品	●各種ツール納品
予算	定期的な収支調整会議											

ランナーエントリー開始

マラソン大会本番